

つくば常民大学8月(第47回)

講師：斎藤弘美氏（NPO 法人・日本サハリン協会会長）

題目：「樺太とサハリンー残留日本人との関わりから」

日時：2025 年 8 月 21 日（木）午後 1 時半～ 4 時

場所：つくば市二の宮交流センター

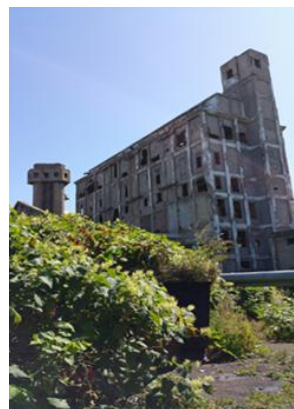
※ 参加自由・要資料代

【要旨】

かつて、世界各地には国家の枠組みには入らない場所が多くありました。日本が日露戦争以降、第二次大戦敗戦までの 40 年間、南半分を「樺太」として領有していた「サハリン」もそのような場所でした。

樺太時代に居住、敗戦時に引揚げできずサハリンに残された「樺太等残留邦人」の帰国支援活動は 35 年前、旧ソ連のペレストロイカ政策により里帰りを叶えた樺太出身者たちと帰国を願う残留邦人の出会いによって始まりました。

ロシアのウクライナ侵攻の影響は、日・ロ関係がかつての冷戦時代に戻したかの様相です。戦後 80 年の今夏、民間人を巻き込んだ樺太での地上戦についても触れ、「樺太」「サハリン」の歴史とともに、樺太からサハリンとなった地に残された人々とその生活、さらに私が考える未来に向けた相互交流のあり方についてお話します。



上段：集団一時帰国（1990 新潟 2013 稚内） 下段：郷土博物館 真岡製紙工場跡